

## 令和2年度 林業普及週間現地情報 (12/14 ~ 12/25)

森林管理課

### 宮古林業研究会定例会の開催及び宮古木工芸製材状況視察

12月25日(金)

12月15日(火)、宮古森林組合において第3回宮古林業研究会定例会を開催した。今回は2部構成で開催し、前半は、治山事業に関する説明・演習、後半は普及アクションプログラム「島産材の利用推進及び商品開発」の進捗確認を行った。なお、後半には宮古木工芸の与儀氏にも参加いただき、状況等の報告をいただいた。

前半は、治山事業の採択条件や工種の説明、治山ダムの模型の作成及び測定の実習をおこなった。宮古では大規模な治山工事がなく、こうした知識に触れることも少ないことから、会員の知識向上につながった。後半は、アクションプログラムに対する外部評価委員のコメント等を紹介し、必要な情報や整備について議論をした。また、島産材普及に向けて、宮古木工芸の与儀氏に協力いただくことを確認した。



#### 定例会の様子

12月22日(火)、宮古木工芸にて木材製材の状況を視察した。島内に製材機をもつ企業は宮古木工芸しかないことから、原木の処理状況、工程管理等を確認した。今回は、イヌマキ垂木を2本、テリハボク原木1本、ラワン材2本及び工芸職人が利用する台座(木材)2台の製材(摩耗箇所の研磨)を視察した(上述のとおり、製材機は本工場にしかないことから、外部からの製材依頼もあるとのこと)。製材後の材の保管場所が限られており、製材機の稼働が少ないとのことである。こうした問題点もふくめ、今後の活動で解消に努めていきたい。



#### 製材の様子

(報告者：宮古農林水産振興センター 新垣、古井)